



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社
コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平木 親臣

TEL 075-352-4111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	34,064	△6.2	△122	—	153	—	△486	—
26年3月期第3四半期	36,299	△3.5	△639	—	△709	—	△656	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 63百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △134百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△49.13	—
26年3月期第3四半期	△66.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,613	11,987	52.8
26年3月期	23,739	11,989	50.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,936百万円 26年3月期 11,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	0.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 平成27年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	△4.4	100	—	130	—	△100	—	△10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,909,400 株	26年3月期	9,909,400 株
27年3月期3Q	326 株	26年3月期	326 株
27年3月期3Q	9,909,074 株	26年3月期3Q	9,909,074 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、「リゾート挙式」におきましては、期初から段階的に実施しております店舗網の再編に注力し、12月に心齋橋店、神戸グランドプラザ、札幌グランドプラザを移転リニューアルオープンいたしました。今年度実施した16拠点の再編により、集客力の向上と固定費低減を図りました。また、新しい海外拠点として、インドネシア・バリ島の新リゾート施設「ザ・リッツ・カールトンバリ」の敷地内に誕生する「ザ・マジェスティックチャペル」の独占販売を開始しております。アジア屈指のリゾートであるバリ島におけるハイエンド商品として、マーケットの拡大を企図しております。リゾート挙式全体については、競争環境激化による取扱組数の減少や、急激な円安進行によるコスト増加の影響を受けたものの、店舗網再編等の効果もあり、営業利益は大幅な改善となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園では婚礼顧客獲得のために成約特典としてハワイ旅行を贈呈する等、積極的なプロモーションを行っております。しかしながら、首都圏における競合他社の婚礼施設オープン等の影響を受け、売上・利益共に前年を下回る結果となりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高34,064百万円（前年同四半期比6.2%減）、営業損失122百万円（前年同四半期 営業損失639百万円）、経常利益153百万円（同 経常損失709百万円）となりましたが、減損損失を計上したこと等により、四半期純損失486百万円（同 四半期純損失656百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数は減少し、売上高は13,995百万円（前年同四半期比6.5%減）となりましたが、販売管理費の削減等に努めた結果、セグメント利益は92百万円（前年同四半期 セグメント損失942百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数は減少し、売上高は20,069百万円（前年同四半期比5.9%減）、セグメント損失は244百万円（前年同四半期 セグメント利益301百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ842百万円減少し、9,663百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ283百万円減少し、12,949百万円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,125百万円減少し、22,613百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ954百万円減少し、7,854百万円となりました。これは主に前受金及び資産除去債務の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ169百万円減少し、2,771百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,124百万円減少し、10,625百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、11,987百万円となりました。これは四半期純損失486百万円や為替換算調整勘定及び繰延ヘッジ損益の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年10月31日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が64百万円増加し、利益剰余金が64百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,267	5,206
売掛金	1,785	1,667
商品及び製品	230	251
仕掛品	20	18
原材料及び貯蔵品	608	511
その他	1,636	2,050
貸倒引当金	△42	△42
流動資産合計	10,505	9,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,335	4,386
土地	2,271	2,272
その他(純額)	1,384	1,481
有形固定資産合計	7,992	8,140
無形固定資産	854	684
投資その他の資産		
差入保証金	2,980	2,938
その他	1,436	1,216
貸倒引当金	△30	△31
投資その他の資産合計	4,386	4,124
固定資産合計	13,233	12,949
資産合計	23,739	22,613
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,813	1,867
短期借入金	1,325	1,125
未払法人税等	184	—
前受金	2,322	1,912
賞与引当金	487	240
資産除去債務	437	43
その他	2,237	2,664
流動負債合計	8,809	7,854
固定負債		
長期借入金	1,075	812
退職給付に係る負債	913	1,056
資産除去債務	442	575
その他	510	326
固定負債合計	2,940	2,771
負債合計	11,750	10,625

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	4,344	3,792
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,558	12,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	91
繰延ヘッジ損益	9	201
土地再評価差額金	△921	△921
為替換算調整勘定	416	692
退職給付に係る調整累計額	△147	△134
その他の包括利益累計額合計	△606	△69
少数株主持分	37	51
純資産合計	11,989	11,987
負債純資産合計	23,739	22,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	36,299	34,064
売上原価	12,640	11,990
売上総利益	23,659	22,073
販売費及び一般管理費	24,298	22,196
営業損失(△)	△639	△122
営業外収益		
為替差益	—	201
その他	110	120
営業外収益合計	110	321
営業外費用		
支払利息	10	8
開業費	96	—
その他	72	37
営業外費用合計	179	45
経常利益又は経常損失(△)	△709	153
特別損失		
固定資産除売却損	55	24
施設店舗整理損	56	91
減損損失	—	233
特別損失合計	112	349
税金等調整前四半期純損失(△)	△822	△196
法人税等	△157	281
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△664	△477
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8	9
四半期純損失(△)	△656	△486

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△664	△477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	55
繰延ヘッジ損益	23	192
為替換算調整勘定	501	273
退職給付に係る調整額	—	13
持分法適用会社に対する持分相当額	4	6
その他の包括利益合計	529	541
四半期包括利益	△134	63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△135	50
少数株主に係る四半期包括利益	0	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	14,975	21,324	36,299	—	36,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,703	94	4,797	(4,797)	—
計	19,678	21,419	41,097	(4,797)	36,299
セグメント利益又は損失(△)	△942	301	△641	1	△639

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円には、セグメント間取引消去19百万円、棚卸資産等の調整額△18百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	13,995	20,069	34,064	—	34,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,681	73	4,754	(4,754)	—
計	18,676	20,142	38,819	(4,754)	34,064
セグメント利益又は損失(△)	92	△244	△151	29	△122

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額29百万円には、セグメント間取引消去25百万円、棚卸資産等の調整額3百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート挙式」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は233百万円であります。